

2009年4月24日

報道関係者各位
プレスリリース

株式会社パシフィックボイス
ヴィジョネア株式会社

**厳選された世界各国のショートフィルムが好きなきに低価格で楽しめる！
WDLC の合同キャンペーン「アイ.ハコブ」プロジェクトとのコラボレーション・パッケージ発売決定！
5月下旬 WDLC ホームページで告知、シアター・アマゾンで発売！**

ヴィジョネア株式会社(本社:港区南青山 2-24-15 代表取締役社長:内古閑 宏、以下ヴィジョネア)は、マイクロソフト株式会社(本社:渋谷区 代表執行役 社長:樋口 泰行)をはじめとする 89社が参加して、コンシューマ向けデジタル市場を活性化するために結成した、ウィンドウズ デジタルライフスタイル コンソーシアム(以下 WDLC)の夏商戦に向けた合同キャンペーンである、「アイ.ハコブ」プロジェクトに協賛スポンサーとして参加します。ヴィジョネアは株式会社パシフィックボイス(本社:千代田区 代表取締役:別所哲也、以下パシフィックボイス)と連携して、ショートショートフィルムフェスティバルと連動した展開を実施、「アイ.ハコブ」プロジェクトのテーマに合致したオリジナル PPV-DVD 商品をキャンペーン展開と同時期に販売します。

■「アイ.ハコブ」プロジェクトに関して

「アイ.ハコブ」プロジェクトとは、もっとヒトとつながりたいと思う“アナログなキモチ”をPCやケータイ、周辺機器やインターネットサービスなどの“デジタルのチカラ”で応援するプロジェクトです。リアルなコミュニケーションが不足して、ヒトの思いが伝わりにくくなっている今。でも本当に大事なものは、デジタルを使う“ヒト”次第。デジタルを上手に使いば今まで表現できなかったことだって、もっと伝えることができる。大切な誰かにココロ揺さぶる気持ちを伝えたいとき、かけがえのない瞬間を、仲間たちと共有したいとき。デジタルだからこそできる大切なヒトとのコミュニケーションを通して人々の生活を豊かにするお手伝いを本プロジェクトは行っていきます。

本プロジェクトは 89 社の会員企業と共に、4月23日より公開される「アイ.ハコブ」プロジェクトサイトを皮切りに、本趣旨にご賛同いただいた「an an」「@cosme」「Woman.excite」「OZmall」「シティリビング」「ぐるなび」(五十音順)等、女性に人気の高い様々なメディア各社様のご協力により、ライフスタイルに応じた「アイ.ハコブ」シチュエーション別特集を順次展開いたします。また多くの女性の皆様にメッセージをお届けする為に、本趣旨にご賛同いただいた「Office Augusta」所属のシンガー ソングライター 秦 基博氏と、アカデミー賞 外国語部門受賞「おくりびと」脚本家 小山 薫堂氏のご協力を得て、音楽や映像を織り交ぜて「アイ.ハコブ」プロジェクトを盛り上げていただきます。

・「アイ・ハコブ」プロジェクトサイト

<http://love.wdcl.jp/>

期間:2009年4月23日(木)～9月30日(水)



PC×ケータイ

大切なヒトに、大切な写真を伝えよう

■ショートフィルムを収録した「アイ・ハコブ」オリジナルパッケージについて

2009年6月4日(木)から開催される米国アカデミー賞公認、国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2009」に合わせて、昨年度の受賞作品を収録した、「アイ・ハコブ」オリジナルパッケージが販売されます。11年目を迎える、別所哲也氏主宰の「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」には、これまで90以上の国や地域から、2万作品以上のショートフィルムが寄せられています。その中から、「アイ・ハコブ」プロジェクトのテーマに沿った、恋愛や家族愛を題材としたショートフィルムを、厳選して収録しました。

PPV-DVDは、好きなときに低価格で、レンタル気分楽しめます。また、PPV-DVDは、再生機器を選びません。DVD規格準拠のDVDプレイヤー、パソコン、ゲーム機などで見ることができます。上質なショートフィルムを1週間見放題です。1週間見て、もっと見たくなくても、PPV-DVDなら簡単です。クレジットカードを持っていなくても、携帯電話でのパスワード購入・まとめて支払いが可能です。また、FeliCa※1ポート付きのパソコンなら、おサイフケータイ® ※2で簡単に支払うことができます。

※1 FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

※2「おサイフケータイ®」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

WDLC、パシフィックボイス、ヴィジョネアは、パソコンと携帯電話で映像を手軽に楽しむエクスペリエンスをユーザーに対して共同で訴求していきます。その一環として、「アイ・ハコブ」プロジェクトサイトなどを通じてショートフィルムの魅力や本オリジナル商品の告知をする一方で、ショートショートフィルムフェスティバルを通じてWDLCの活動を紹介するなど、連携したコミュニケーションを進めていきます。

【ショートフィルムについて】

長くて25分(※本映画祭規定による)、短いものはわずか1分という“ショートフィルム”。ショートフィルムの歴史が長い欧米では、通常の映画とは区別され、映像表現の1つのジャンルとして確立しています。映画の原石、映像作家のデッサン画、などと評されるように、長編映画にはない強いメッセージ性や、エンターテインメント性が注目され、21世紀のコンテンツ産業を担うビジュアルコンテンツとして注目されています。

【Short Shorts Film Festival & Asia について】

日本発アジア最大級の国際短編映画祭。1999年、東京原宿で欧米諸国のショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、有名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、これまで世界90以上の国や地域から、2万作品以上の公募が寄せられ、その中から約700本にも及ぶ作品を日本に紹介しています。2004年には、日本で唯一米国アカデミー賞の公認短編映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート選考対象になることとなりました。また、映画祭開催初年度から毎年、ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。年々規模を大きくする映画祭は、2008年には記念すべき10周年を迎えました。2009年は新たなステップとして、ミュージックShort部門を設立、さらに、映画監督だけでなく、未来を担う、俳優、女優を称える、FREDベストアクター／アクトレス アワードを新設。2009年も明日の映像文化を担う若手映像作家、監督、映像に携わる新たな才能の為、世界へつながるゲートウェイを創出しています。



(c) Lucasfilm Ltd. & TM. All rights reserved.

オフィシャル HP: www.shortshorts.org

【ブリリア ショートショート シアターについて】

日本初！映画祭と連動した世界中のショートフィルムを上映するブティックシアター！！

20世紀に花開いた映像文化である「映画」の、“はじめの一步”ともいえるショートフィルム。現在、日本で唯一の米国アカデミー賞公認となるアジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」では、過去10年にわたって、延べ700本以上ものショートフィルムを日本に紹介してきました。そして2008年、主に映画祭やPC、携帯でしか観る事の出来なかったショートフィルムが、この常設ブティックシアターがオープンしたことで、いつでも気軽にお楽しみいただけるようになりました。上映作品は、過去の「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」上映作品や、世界中の優れたショートフィルム、ショートフィルムからチャンスを掴んだ監督による長編映画の興行、そしてもちろん、日本の若手クリエイターたちの作品上映など、国籍もジャンルも様々です。またシアターを利用し、ショートフィルムに関するセミナーやワークショップ、作品展示などの特別イベントも行っています。シアターに関する詳細は、オフィシャルサイト(www.Brillia-SST.jp)をご確認ください。



【ヴィジョンア株式会社について】 <http://www.visionare.co.jp/>

「日本発 世界初」の独自技術を開発し、新しいビジネス、新しいライフスタイルを世の中に提唱する会社として2000年に設立。再生制御技術である『DVIDMAGIC』®(特許取得済)を使用した「PPV-DVD」(ペーパービュー-DVD)を開発。ケータイとDVDを連動させた新しい視聴スタイルで、DVDには、あらかじめ鍵をかけた映像が収録されており、ユーザーは、ケータイを使ってパスワードを購入し、そのパスワードをDVDに入力すると鍵が解

除されて映像を視聴できる仕組みとなっている。パスワードは、リーズナブルな価格で購入でき、手元にレンタルショップがある感覚で、ケータイを使って、好きな時に好きな分だけ映像を楽しむことができる。「ペーパービューDVD」は、DVDを無料配布するプロモーション目的でも活用でき、次世代DVDであるBD(ブルーレイディスク)用のシステムも開発した。

日本映像ソフト協会会員、Blu-ray Disc Association コントリビューションメンバー、DVD フォーラム・プリンシパルメンバー、Digital Living Network Alliance(DLNA) コントリビューターメンバー、デジタルテレビ情報化研究会会員でもあり次世代ディスクに対して積極的に開発を行うなど映像コンテンツの新しい流通プラットフォーム構築を目指しメディア技術の開発に注力している。

【WDLC(ウィンドウズ デジタルライフスタイル コンソーシアムについて)】

WDLCには、世界的にも先進的な技術を有する日本のPCメーカー、ハードウェアおよびソフトウェアメーカー、コンテンツ/サービスプロバイダーなど89社が参加しています。参加メンバー各社が、業界の枠を越え、各社の提供する情報デジタル機器(PC、携帯電話、デジタル家電など)、情報・コンテンツサービスなどを相互に連携することで、革新的なデジタルライフスタイルの創造と利用者へのシナリオ(利用形態)提案を共同で行うことを目指します。

WDLCでは、情報デジタル機器(PC、携帯電話、デジタル家電など)、情報・コンテンツサービスなどの連携による新たなシナリオの共同開発・提案や、中高齢者や若年層などICT利用者層の拡大や利用者層に最適なシナリオの共同提供など様々な活動を通して、日本における革新的なデジタルライフスタイルの推進を目指しています。また、既にWDLC参加各社が提供している製品・サービスなどで実現しているデジタルライフスタイルのシナリオの認知度向上と普及推進を、各社相互連携して行っています。

【このリリースに関するお問い合わせ先】

ヴィジヨネア株式会社 広報担当:小嶋啓一(こじま・けいいち)、池田久仁子(いけだ・くにこ)
TEL:03-6823-1888